

**アクセス** 東京・羽田空港から北海道・帯広空港まで約1時間35分。関西方面からは伊丹空港から羽田、新千歳空港経由で。伊丹から羽田を経由し帯広空港の場合は、乗り継ぎ時間を含め約3時間半。

薄手のジャケットを手に帯広空港へとひとつ飛び。レンタカーに乗り換え空港から北西へ5分、まずは旧国鉄士幌線「幸福駅」(別項①)を目指した。

1987年冬に廃線となり、今は駅舎とホームとレール、当時使用されたディーゼル車が展示されているのだが、縁起のいいその名にあやからうと、最盛シーズンには国内外から1日1000人以上もの観光客が押しかける。

「2013年、幸福の鐘が建設されると結婚式の後、ウエディングドレス

スのまま愛の鐘を鳴らしに来るカップルも多くなつて、よりお客さまが増えました」と、とがち青空レディの金谷美来さん(26)は説明してくれた。

次は、今回の旅の目的の一つでもある「タウシュベツ川橋梁」(旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群)へ。国道273号線を車で走ると、森林の向こうにアーチ型の橋梁が飛び飛びに姿を見せる。一連の橋梁は01年、北海道遺産に指定。いずれも崩壊が進んでいるが「数億円の修復費の



「2013年、幸福の鐘が建設されると結婚式の後、ウエディングドレス

スのまま愛の鐘を鳴らしに来るカップルも多くなつて、よりお客さまが増えました」と、とがち青空レディの金谷美来さん(26)は説明してくれた。

**幸福駅**  
酪農で栄える帯広市を恋人たちの聖地として有名にした。ホームには磨き上げられたディーゼル車が日差しを照り返し、往年の威容を彷彿とさせている。切符を模したグッズも人気。

「数億円の修復費の

# 豊かな時間へ浸る



**タウシュベツ川橋梁**  
コンクリート製のアーチ橋は1936年から55年まで帯広から十勝三股(とがちみつまた)に至る士幌線約80\*。間に計49橋建造。87年、士幌線は全線廃止となりその歴史を閉じる。農産物・木材などの搬出に役立てられた橋は、工事費の節約のため、現地で取れる砂利や砂を原料としていて、それが長期保存を不可能にする一因となった。

今では2連以上の大型橋が12橋。その代表格がこのタウシュベツ川橋梁だ。ダム建設による水位変動と酷寒にさらされ放置。「目視できるだけで3カ所崩落している。あと何年、この姿をとどめるのか」と関係者は「幻の橋、の行く末を案じる。

帯広市街から糠平方面へ車で約70分。時期により橋が水没して見られない場合がある。見学ツアーなどの問い合わせは、ひがし大雪自然ガイドセンター(01564・4・2261)へ。

モキ・パンチ/TMS・NTV